

藤塚小だより

学校教育目標：生きる力にあふれる子

～「自分らしさを発揮する力」の育成を目指して～

令和5年 4月 25日
横浜市立藤塚小学校
学校だより 5月号
TEL (351) 2314
FAX (351) 7349

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fujizuka/>

～ 笑顔いっぱいの学校！ 藤塚小学校 ～

校長 出口栄生

藤塚小学校に着任して、はや1ヶ月が経とうとしています。4月7日には新1年生の入学式を終えたばかりですが、1年生38名はとても元気一杯で、学校全体に新しい風を送り込んでくれています。明るく元気な声がこだまする学校には活気があり、この活気は在校生259名の児童にとっても新鮮で、より新しい学校文化を形造るきっかけとなるものと考えます。

藤塚小学校の子どもたちの第一印象は、明るくて元気なこと。そして、笑顔で自らあいさつできる子どもが多いことです。入学式では、1年生にあいさつの大切さをお話ししましたが、笑顔で、そして、大きな声で「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」であいさつを交わすことは、やがてその後社会人となる上での基礎となり、一生の財産となります。特に小学校での道徳科では、他者とコミュニケーションをとるその第一歩として重要性を説いており、あいさつは、幸せと笑顔の原動力でもあります。さらに藤塚小学校の「あいさつ文化」を高め、活気に満ちた学校にしていきたいと考えます。

ところで、この5月は、もう一つ、6年生にとって大きな笑顔の原動力があります。6年間の締めくくりとも言える「修学旅行」です。5月30日(火)・31日(水)の2日間で日光方面への修学旅行が実施されますが、数年前までは、コロナ禍の影響で中止や延期、日帰り実施にする学校が少なからず存在しました。今日では感染症対策をしつつ、宿泊にて思い出の旅行を実施できることに大きな喜びを感じる児童も多いことでしょう。

修学旅行の歴史を紐解くとその始まりは「1886年(明治19年)2月に東京師範学校が千葉県で行ったもの」と記されており、名称は、「長途遠足」とのこと。その後、様々な変遷を経て、1958年(昭和33年)には全国の学校で現在の形として定着したとのこと。6年生46名が一斉に日光に旅行に行きますが、最高学年として進級した新しいクラスで、一生の思い出を作ってほしいと願います。そして、日光東照宮等の著名な歴史的建造物も訪れますが、教室だけでは実感できなかった「本物」を通じて、実物を見て、そして、体感することで、その歴史的意義とその奥深さを知り、今後の「学び」に生かしてほしいと考えます。